

# 本当に救急車、必要ですか？

消防署では、市民の皆さんの大切な生命を守るため、管内に8台の救急車を配備し救急要請に対応しております。しかし、近年の救急要請の増加により救急車が不足してしまう恐れもあります。

緊急を要さない軽い病気やケガ等で救急車を利用されますと、一刻を争う傷病者への対応が遅れ、救える命が救えなくなる恐れがあります。



大切な生命を守るため、助け合いの精神で、正しい救急車の利用を心掛けて下さい。皆様のご理解とご協力をお願い致します。



# 熱中症に注意してください！

暑い夏がやってきました。強い日差しの中で長時間過ごす、熱中症にかかるおそれがあります。八代地域では、昨年7月から9月にかけて39人の方が救急車で搬送されました。

夏真っ盛り、熱中症の症状と応急手当、予防策について考えておきましょう。

## 《熱中症とは》

熱中症とは、体の中と外の暑さ(熱)によって引き起こされる様々な体の不調です。

熱中症は、その程度によってⅠ度(熱ケイレン)、Ⅱ度(熱疲労)、Ⅲ度(熱射病)に分類されますが、いずれも暑さによる血圧の低下、発汗による脱水や塩分不足、体温の上昇が原因となっています。

## 《応急手当》

- ①日陰で風通しのよい場所へ運び、衣服を緩める。
- ②薄い食塩水またはスポーツ飲料を補給する。
- ③できるだけ早く全身を冷やし体温を下げる。

## 《予防策》

- ①睡眠を十分とる。
- ②炎天下での外出や激しい運動はできるだけ避ける。
- ③早めに水分を補給する。  
(スポーツ飲料等の補給をお勧めします。)
- ④屋外での活動時は、帽子をかぶる。

※高齢者や乳幼児等については、特に注意するようにお願いします。

また、屋内でも熱中症にかかる可能性がありますので注意しましょう。



# 普通救命講習(AED含む)

- ◆日時 毎月9日・第4日曜日  
9:00～12:00
- ◆場所 八代消防署または鏡消防署  
※テキスト代300円が必要です
- ◆申込み・問合せ 最寄りの消防署まで

